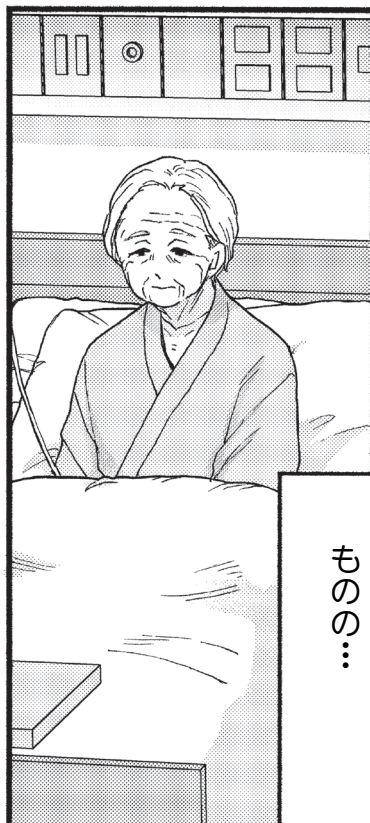
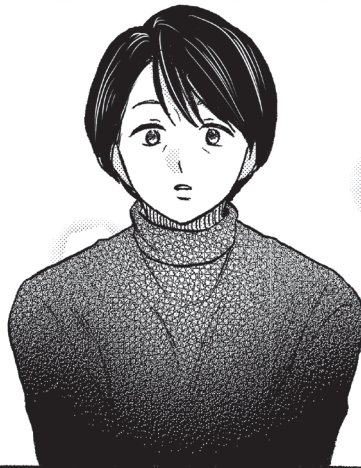


# 「共に楽しく 介護を」

作 望月 仁美  
絵 花松 あやか

楽しく一緒に  
介護をして  
いきましよう



私の母は  
百歳を目前に  
骨折をし  
入院することに

手術は成功した  
もの…







お母さんも  
元気が戻りますよ

介護士さんが  
かけてくれた  
この言葉が

介護に前向きに  
なる力をくれた



介護士さんは  
すぐに病院と  
連携を取り

施設と自宅での  
生活を可能に  
してくれた

薬や食事の取り方  
おむつ交換  
着替え等のやり方は

自宅でも  
教えてもらった



大丈夫  
大丈夫  
大丈夫

こ...これで  
いいでしょうか

一人ではない

何でも相談できる  
人がいる



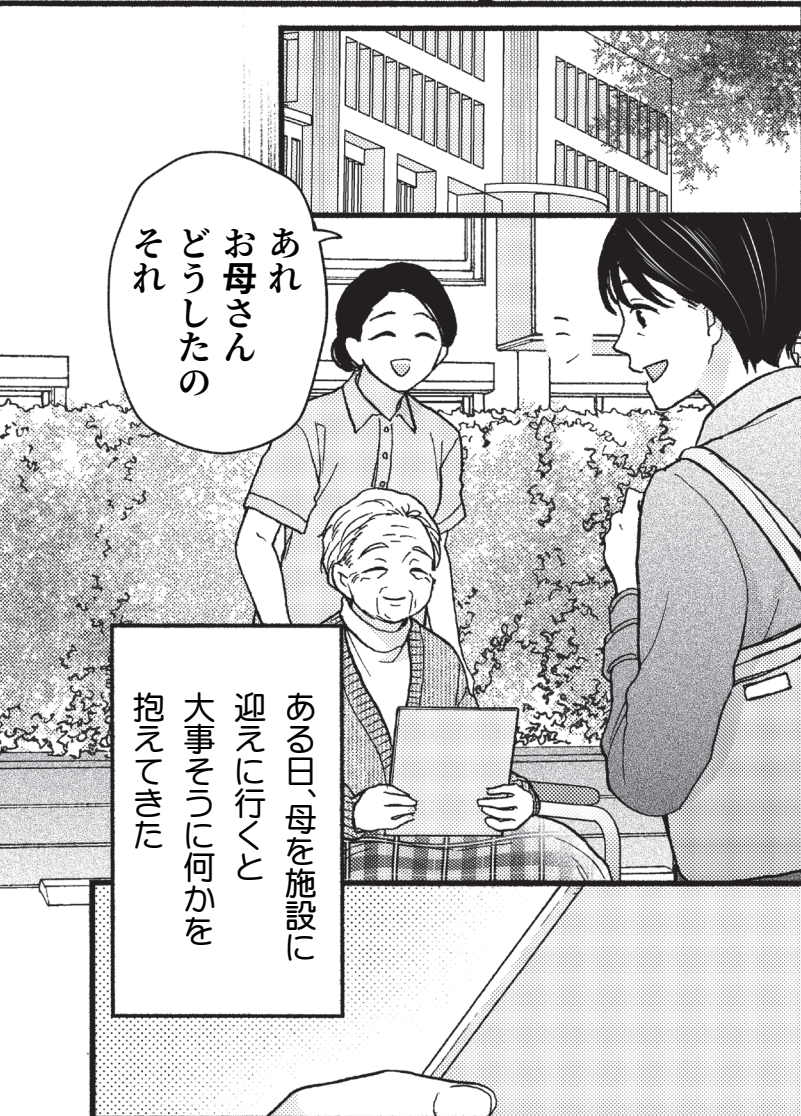
ありがとうね



それだけで  
心強かった

お母さん足痛む？  
リハビリのくらいに  
しとこっか

ううん  
大丈夫だよ



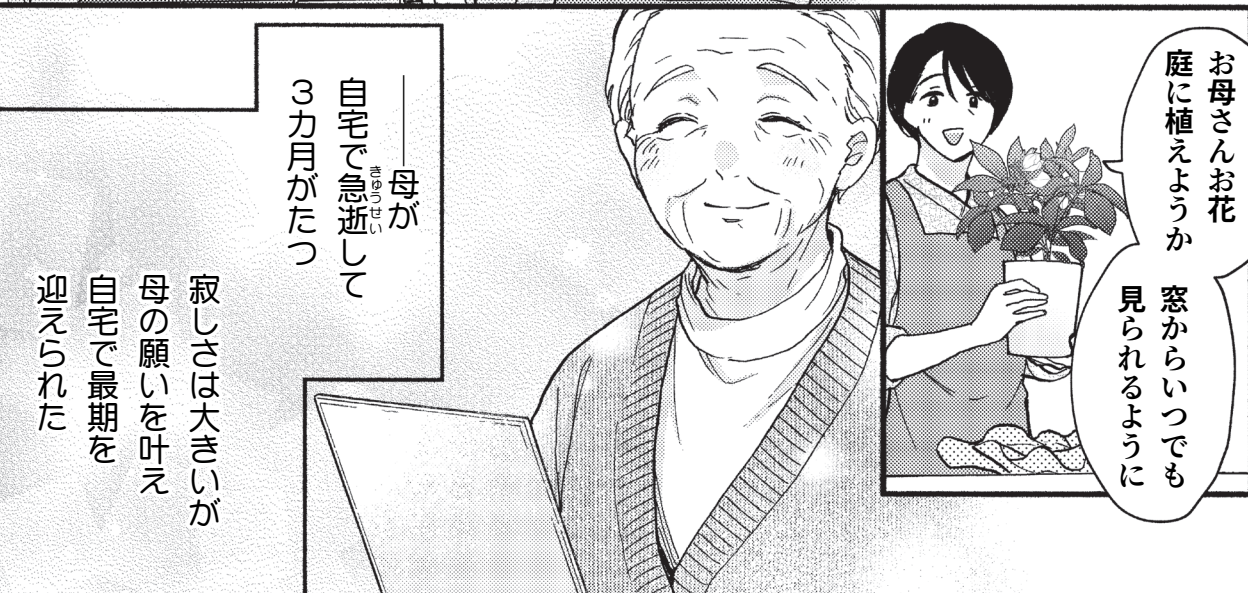
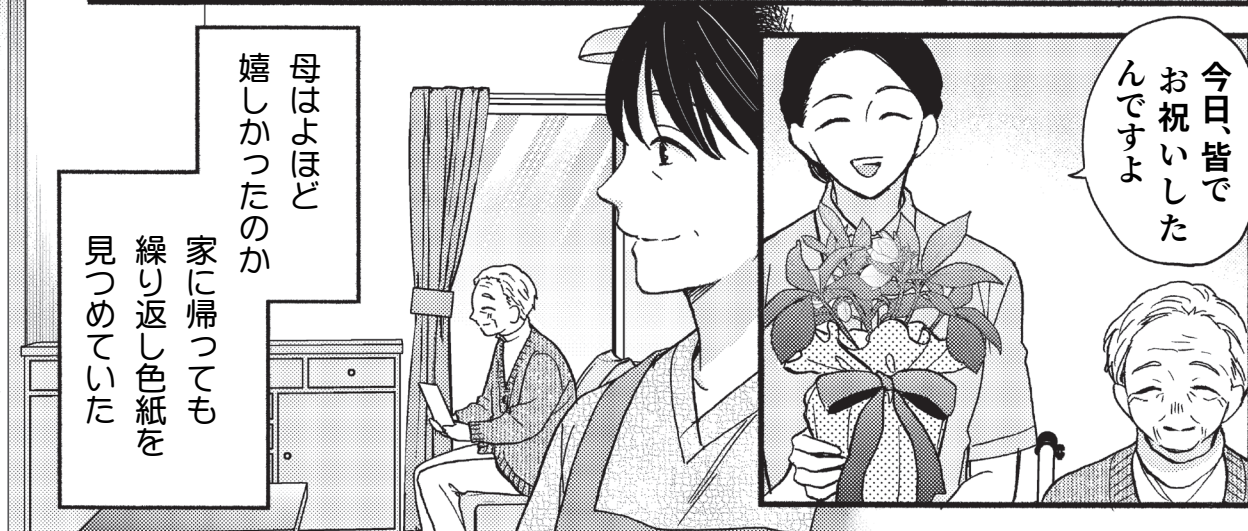
あれ  
お母さん  
どうしたの  
それ

ある日、母を施設に  
迎えに行くこと  
大事そうに何かを  
抱えてきた



日ごとに元気を  
取り戻す母

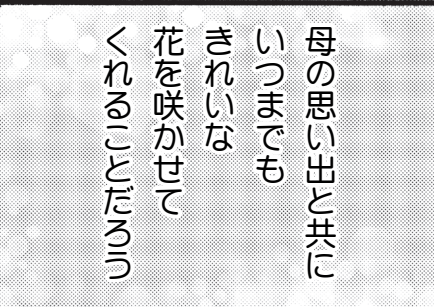
辛いとばかり思った  
介護生活に  
希望と楽しみが  
加わっていった





最期の日々に  
楽しい思い出が  
刻まれたのは

いつも寄り添って  
くれた介護職員の  
皆さんのおかげだ



庭に植えた  
クリスマス  
ローズの苗

母の思い出と共に  
いつまでも  
きれいな  
花を咲かせて  
くれることだろう

## やまなし介護感動ストーリー大賞 準グランプリ作品①

### 「共に楽しく介護を」

望月 仁美さん  
もちづき ひとみ

「楽しく一緒に介護をしていきましょう。お母さんも元気が戻りますよ。」百歳を目前にし骨折入院をした母、手術は成功したが、薬も食事を受け付けず衰弱するばかり。家に帰りたいと願いを言う。困り果てた私に介護士さんがかけてくれたこの言葉は、介護に前向きになる力をくれた。介護士さんはすぐに病院と連携を取り、施設と自宅での生活を可能にしてくれた。薬や食事の取り方、おむつ交換、着替え等のやり方は自宅でも教えてもらった。自信なさげな私に、大丈夫ですよいつも寄り添ってくれた。一人ではない、何でも相談できる人がいる、それだけで心強かった。

日ごとに元氣を取り戻す母。以前のようにありがとうの言葉もかけてくれた。辛いとばかり思った介護生活に、希望と楽しみが加わっていった。ある日、母を施設に迎えに行くこと大事そうに何かを抱えてきた。それは「百歳おめでとう！」と描かれた、職員の方からの心温まる色紙であった。花の苗も添えてあった。母はよほどうれしかったのか、家へ帰っても繰り返し色紙を手に取り見つめていた。

その母が自宅で急逝して3カ月がたつ。寂しさは大きいが、母の願いを叶え自宅で最期を迎えられた。母も私も幸せだと感謝している。最期の日々に楽しい思い出が刻まれたのは、いつも寄り添ってくれた介護職員の皆さんのおかげだ。庭に植えたあの時のクリスマスローズの苗。

母の思い出と共に、いつまでもきれいな花を咲かせてくれることだろう。